

「全身で聞く」に触れて

「全身が耳」は先月の掲示板の文言です。過日、文言そのままの映像が某テレビ画面で映し出されていました。「夜回り先生」と親しまれている水谷修氏が高校生に語る場面の映像です。生徒達の聞き入る姿は真剣そのもので、まさに「全身が耳」でした。生徒達の表情は演台の先生に釘付けで眼が輝き、前傾姿勢を保っていました。生徒の表情が大写しされている多くの場面では、全くカメラを意識することなく聞き入っていたのが印象的でした。しかし、「全身が耳」は聞き手だけでなく、語り手のアプローチが大きいのが事実です。水谷先生はやさしい言葉で簡潔に飾り気なくストレートに語っておられました。若人への願いを込めての言葉はそのまま若人の胸にストレートに届いたのでしょう。満たされた雰囲気の世界でした。



自殺防止の流れ

年間自殺者数は9年連続で3万人を超える(1日当たり約90人)との報道が過日ありました。自殺未遂者はその十倍といわれ大きな今日的な問題であります。とかく今までは、自殺は個人の問題とされてきましたが、自発的に死んだのではなく死を選ばざるを得なかった社会全体の問題だという気づきが自殺対策の当事者から生まれ、徐々に広まりつつあります。

副住職は以前からこの問題に関わってきました。時を経て「自殺防止の風」を届ける事もあろうと思います。

今月の安楽寺伝道掲示板

念仏とは

我が我に対話する道である
藤代 聴磨

